

朝の安全活動 誘導のやり方

成瀬中央小学校PTA安全委員会



保護者の皆様へ

日頃から通学路での朝の安全活動にご協力をいただき、誠にありがとうございます。

朝の安全活動のやり方をまとめました。

当番の前に今一度ご一読いただきますようお願いいたします。

●児童の特性

- ・危険予測の能力や危険回避能力には児童により差があることを理解することが重要です。
- ・児童が危険に遭遇した時の回避能力は、大人が思っているほど発達していません。
- ・児童は大人よりも視界がせまいという特徴があります。目の高さが低いため、大人であれば見えている危険が児童には見えていないことが多々あります。ドライバーからも死角となることがあります。



●誘導する時の服装と立ち位置

- ・車から見えやすい、防犯ベストなど反射材等を活用した服装
- ・動きやすく、かかとの低い靴
- ・雨の時は傘を持たず、レインコートを着用
- ・乳児、幼児を連れての誘導は不可
- ・自動車からよく見える位置に立つ
- ・自動車が止まるまで車道には出ません



●安全活動の注意点

- ・自分の身を守るため、車から見えにくい場所や逃げ場のない場所に立たないようにしてください。
- ・車が並んでしまったり、児童がたまっても慌てないで落ち着いて誘導しましょう。
- ・合図は、大きく、はっきり正確に行ってください。
- ・2人以上で行う場合、声を掛け合ってお互いが異なる合図を出さないようにしてください。
- ・「横断旗」には、車を止める強制力はありません。交通ルールを無視する運転手がいることを念頭に置いて活動してください。
- ・協力してくれた運転手には感謝の気持ちを伝えましょう。

・大型車は危険なので止めないようにしてください。

※大型車の後ろからは前の様子が見えません。後続車が前の様子を確認できずに衝突したり、横断中の児童に気づかず大型車を追い越してくる可能性があります。



●横断旗の使い方

①児童を待たせる時は旗を地面と水平に持ち、児童が飛び出したりしないようにしてください。

「道路の端から下がって待とうね。」と声をかけて下さい。

②左右の安全を確認し、一度大きく右45度の頭上に上げ、運転者に対し合図を行います。左手は、児童を抑えておきます。自動車を無理に止めることは危険ですので、止まらない場合は通過するまで待ちましょう。

③自動車が完全に止まったら、安全確認をした後、旗を横断歩道に水平に出し児童を誘導します。すり抜けてくるバイクや自転車にも注意しましょう。

④児童が渡りきったら、右手の横断旗を頭上に上げてから左手に持ち替えて、後から来る児童を止めます。

※児童に旗をぶつけないように注意しましょう。

⑤協力してくれたドライバーに、お辞儀などをして感謝の気持ちを伝えましょう。

ありがとうございます

